

慶應義塾大学大学院

法務研究科（法科大学院）入学説明会

	本日の内容	所要時間（目安）
(1)	はじめに 本日のスケジュール確認	5分
(2)	研究科委員長のご挨拶	10分
(3)	カリキュラムの概要	10分
(4)	2016年度入試について	15分
(5)	実務家紹介	10分
(6)	在学生紹介	20分
(7)	質疑応答	20分

※説明会終了後、質問がある方には個別質問に応じますが、時間の都合上、予めこちらのQ&Aを参考にしてください。

慶應義塾大学法科大学院
学生部法務研究科（法科大学院）担当
Tel: 03-5427-1778
e-mail: lawjm@info.keio.ac.jp
入試に関するお問い合わせ
e-mail: ls_admissions@info.keio.ac.jp
ホームページ: <http://www.ls.keio.ac.jp/>

入試 編

質問	学部成績はどのように評価されるのですか？単位に応じた評価がなされるのですか？大学や学部に応じた格差は設けるのですか？
回答	「A」や「優」に限らず、すべての成績評価を対象として、いわゆるGPAに近いものを算出します。大学や学部も多様であり、また成績評価の方法も様々ですが、慶應LSで独自の基準によって平準化の上、算出しています。学部時代の努力を公平に評価するため、社会人経験者でも新卒者でも同じ基準で成績評価します。

質問	学部成績の不可の取り扱いはどのようになっていますか？
回答	不可（不合格）科目は換算対象から外しています。

質問	外国語能力証明書を提出する場合、直近（6月、7月頃）の外国語能力試験を受けて最新の實力で応募したいのですが、その場合、公式成績証が出願期間に間に合いません。追完してもらえますか？
回答	すべての提出書類を、締め切りまでに出していただく必要があります。原則として追完は認められません。

質問	昨年度入試に関して、合格最低点などの公表は予定されていますか？今後、より詳細な採点基準などを公開する予定はありますか？
回答	昨年度のものについては公表の予定はありません。

質問	推薦状をその他の資料として提出することは可能ですか？
回答	可能です。様式は指定しません。志願者報告書の記載事項を裏づける資料等として用います。

質問	志願者報告書の「職歴」欄には何を記載すればよいのですか。アルバイト等も記載するのですか？
回答	原則として卒業後の職歴を想定しています。定職についている場合にはそれらをすべて記載して欲しいのですが、アルバイトは志願者の方の判断で必要だと思う範囲で記載すれば構いません。

質問	入試ではどのような六法を用いるのですか？
回答	2015年度入試において大学が用意したのは、『法科大学院試験六法（第一法規）』です。

上記の他にも、入学者選考に関するFAQをウェブサイトに掲出しています。
<http://www.ls.keio.ac.jp/nyushi/faq.html>

質問	シラバス(講義要綱)や時間割は閲覧できますか？
回答	シラバス(講義要綱)は https://gslbs.adst.keio.ac.jp/ にて Web 閲覧が可能です。 今年度の時間割については http://www.ls.keio.ac.jp/ 「授業関連」に PDF としてアップしています。

質問	奨学制度について具体的に教えてください。
回答	入学試験成績優秀者に対して、授業料を全額免除します。なお、2015 年度までは、他のすべての学生に対して、一律 40 万円を奨学金として給付していましたが、2016 年度以降は、一律奨学金の給付に代えて、授業料の改訂を行います。その他の奨学金に関しては入試要項に記載される内容をご確認下さい。不明の点は、学生部福利厚生支援(03-5427-1570)に問い合わせして下さい。

質問	国際交流について、海外の LS との提携はありますか？また、具体的な内容はどのようになっていますか？
回答	慶應義塾としての全学レベルの交換協定があります。また法務研究科独自に、アメリカ、アジア、ヨーロッパ等の様々な国々のロースクールと提携を結んでいます。具体的な提携校については、2016 年度パンフレット p. 29 を参照してください。これらの海外提携ロースクールから、毎年 10 名以上の留学生を受け入れています。ウェルカム・パーティーに参加したり、英語での授業科目を履修することにより、留学生との交流を図ることができます。これまでは、在学中の留学は司法試験等のタイミングの問題もあり難しいというのが現実で、もっぱら留学生の受け入れによるオン・キャンパスによる交流が中心でした。しかし、近年、企業のグローバル対応の必要性が高まっていることから、在学生や修了生が留学をする機会を設けるように制度改革を進めています。

質問	法学未修者への授業補助など特別な対応はあるのですか？
回答	1 年生(未修者コース)に対して、グループ別学習支援ゼミを設置しています。通常の授業で修得した基礎的知識を定着させ、基本的な法的思考能力および法律文書作成能力を身につけることを目的としています。学生の参加は任意ですが、大半の学生が参加しています。また、2 年生、3 年生に対しては、学習支援ゼミを設置しています。三田法曹会の若手弁護士を講師とし、授業で理解出来なかった点の質問、学習方法だけではなく、将来の進路等についても幅広く指導を行います。さらに、2015 年度より必修授業の予習ゼミや、学習相談会を設けました。なお、グループ別学習支援ゼミ、学習支援ゼミは Web 上でシラバスが閲覧できます。

質問	希望する選択科目を履修できないということはあるのですか？
回答	自分の希望する授業を履修登録することは出来ませんが、それぞれ定員が決まっており、人数を超える場合には、履修者調整を行う可能性があります。その意味では履修出来ない事態もありえます。

質問	他研究科や他大学との単位互換はありますか？
回答	塾内では、経営管理研究科、法学研究科、塾外では早稲田 LS、一橋大学大学院との単位互換を行っています。それぞれいくつかの科目を提供し合い、履修が可能となっています。

質問	研究者を志す者をどのように位置づけていますか？
回答	実務家養成機関ではありますが、これからの研究者は実務を踏まえた上で研究を行うことが要請されています。理論と実務の架橋とされる所以です。自ら選択したテーマについて、法科大学院の指導教授の下、リサーチペーパー(1 単位)を作成することが可能です。在学中のみならず、修了後にも科目等履修生として、リサーチペーパーを作成することも出来ます。優秀なリサーチペーパーは、推薦・選考の上、法務研究科の紀要である『慶應法学』に掲載されます。2015 年度から、本格的な研究者養成として上級リサーチペーパー I・II(各 3 単位)も開始しました。

質問	自習室、ロッカーについてはどのようになっていますか？
回答	個人用ロッカーは、一人に一個用意しています。自習室は固定席ではなく自由席です。自習室の開館時間は、月～土が8:30～23:00まで、日・祝が8:30～21:00まで開館しています（時間短縮あり）。夏休みや春休みも開館していますが、年末年始等は閉室しています。

質問	司法試験を通ったとしても就職が厳しい状況ですが、どのような就職支援を行っていますか？
回答	三田法曹会（任意）に入ること、慶應出身の法曹であるOBやOGとのつながりがうまれます。また、法科大学院生向け就職情報サイト「ジュリナビ」への登録や、在学生・修了生向けに企業・官庁説明会などを随時開催しています。

質問	エクスターンシップは怎么样了のですか？
回答	希望者を対象に夏休みの期間に実施しています。現在は、法律事務所、法テラス、官庁・企業へ派遣し、合格者は単位(1単位)を取得します。派遣された学生の報告書は、南館1階学生部法務研究科窓口（平日8:45～16:45）にて閲覧することができます。また、2015年度から、エクスターンシップ（海外）を開始します。これは、国際法務フォーラム・プログラムおよび法整備支援フォーラム・プログラムと結合したエクスターンシップで、両授業を履修した学生の希望者から各1名を選考し、受講後の春休みに、国連等の国際機関（2015年度は国連宇宙部）およびアジア諸国での法整備支援活動（2015年度はラオス）に派遣します。 【2014年度夏の派遣実績】 法律事務所：112ヶ所/143名派遣 法テラス：7ヶ所/8名派遣 官庁：3ヶ所/4名派遣 企業：16社/20名

質問	司法試験の対策は怎么样了のですか？
回答	答案練習は行いません。授業の中で、必要な力を養うことが出来ると考えています。授業を真面目に受けて、良い成績を修めていけば、それがそのまま司法試験の合格に繋がります。授業中に、様々なかたちで法的文書の作成能力を高めるための教育的配慮を行っています。なお、学習支援ゼミでは、法律文書作成などの指導を行っています。

質問	慶應LSでの成績と司法試験の合格率の相関性はありますか？																																
回答	これまでの相関関係は、慶應LS HP「修了生の方へ」(http://www.ls.keio.ac.jp/graduate/result.html)に「司法試験の結果を踏まえて」(pdf)として公開されていますので、そちらを参考にしてください。 [参考] 2014年3月修了者 <table border="1"> <tr> <td>GPA</td> <td>4.00～3.50</td> <td>3.49～3.25</td> <td>3.24～3.00</td> <td>2.99～2.75</td> <td>2.74～2.50</td> <td>2.49～2.25</td> <td>2.24～1.50</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>12</td> <td>31</td> <td>39</td> <td>28</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>出願者数</td> <td>12</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>19</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合格率</td> <td>100</td> <td>93.9</td> <td>86.7</td> <td>62.2</td> <td>23.1</td> <td>21.1</td> <td>0.0</td> </tr> </table>	GPA	4.00～3.50	3.49～3.25	3.24～3.00	2.99～2.75	2.74～2.50	2.49～2.25	2.24～1.50	合格者数	12	31	39	28	9	4	0	出願者数	12	33	45	45	39	19	10	合格率	100	93.9	86.7	62.2	23.1	21.1	0.0
GPA	4.00～3.50	3.49～3.25	3.24～3.00	2.99～2.75	2.74～2.50	2.49～2.25	2.24～1.50																										
合格者数	12	31	39	28	9	4	0																										
出願者数	12	33	45	45	39	19	10																										
合格率	100	93.9	86.7	62.2	23.1	21.1	0.0																										

質問	慶應LS修了後から司法試験受験までやその後の期間は、自習室等は使えないのですか？
回答	希望者には修了後の4月～5月の2ヵ月間、自習室やロッカー、学内ネットワークを利用できる特別研修生という制度を整えており、例年、約半数の修了生が登録をしています。また、司法試験終了後、ギャップターム期間（6月～9月）を活用し、グローバル系科目の履修により海外LSのサマースクールに参加したり、リサーチペーパーを履修することで、科目等履修生として在籍が可能です。司法試験に不合格となった場合も、9月以降も科目等履修生として在籍することができます。この期間には修了生支援ゼミを開講し、翌年の司法試験へ向けてサポート体制が整っています。

質問	慶應LSの授業見学は出来ますか？
回答	慶應LSでは授業見学などは行っていないですが、慶應大阪シティキャンパスにおいて慶應LS専任教員による法律学を学ぶ講座を開催予定です。詳細は慶應大阪シティキャンパス事務室へお問い合わせください。 http://www.korc.keio.ac.jp/ TEL: 06-6359-5547（平日9:30-17:30）E-mail: keiokorc@info.keio.ac.jp